

## 設立からの歩み

### ◆東村山稲門会ニュース第 1 号発行 平成 9 年(1997 年)4 月 1 日

思い出の第 1 号 東村山稲門会ニュース 当初は 2 ページ建てでした、1 ページ目です。

#### 東村山稲門会ニュース 第 1 号

H 9 年 4 月 1 日発行  
事務局、0423-94-6951  
小亀 輝雄

#### I. 会からのお知らせ

◎ 慶弔規定が下記のとおり決まりました。

該当する場合、早めに事務局までご連絡ください。  
また、万一の場合を考慮して、家族のかたにもお話しておいてください。

##### 1. 慶事

本人および子女の結婚に際しては「早稲田大学総長」「東村山稲門会長」名で祝電を送る。

##### 2. 弔事

(1) 次の者の死亡の際に、東村山稲門会として弔慰を示す。

- ① 会員および会員の配偶者、父母、子
- ② 会員の配偶者の父母

(2) 弔慰の内容は、次の通りとする

- ① 生花 1 基または花輪 1 基を贈る。ただし事情により、生花 1 基等に相当する弔慰金とすることができ、生花、花輪の名義は「東村山稲門会」とする。
- ② 早稲田大学総長名義の弔電を送る。
- ③ 遺族の特別の希望がある場合は、「早稲田大学」または「早稲田大学総長」名義の生花または花輪を手配することができる。ただし費用は本人負担として頂く。
- ④ 通夜または葬儀に可能な限り東村山稲門会役員が弔問する。

#### II. 同好会の案内

皆さま、ふるってご参加ください

##### 1. ゴルフ同好会、第 1 回 ゴルフコンペ

日時：平成 9 年 4 月 19 日(土) 8.00～ 5 組  
場所：西武園ゴルフ場 (所沢市荒幡 1464、TEL0429-25-8111)  
会費：35,000 円(予定)  
参加希望の方は 木谷 (TEL0423-91-3301) まで

##### 2. ウォーキング同好会第 1 回 市内ウォーキング

市内の緑地と史跡その他のナイススポットを探索し、街を再発見していきながら、会員相互の交流親睦をはかることを目的に、今回は下記のとおり計画しました、ご家族など同伴者の参加も歓迎です、多数の方の参加をお待ちしております。

なお、今後も定期的にいろいろなコースを設定し実施する予定です。

日時：平成 9 年 5 月 11 日(10 時、中央図書館前集合)

小雨の場合は、5 月 18 日(日)に延期

コース：市役所→空堀川→豊島酒造(見学)→梅岩寺(曹洞宗)→熊野公園(お弁当)→八国山→多摩湖→狭山公園→西武園駅(解散 4 時) 約 10 km コース 別紙参照

服装・持ち物：歩くのにふさわしい軽い服装、弁当・お茶

その他：終了後、有志希望者による懇親会を行います。

場所：東村山駅前「白木屋」 TEL0423-95-8788

17.00～19.00 予定 費用 3,000 円程度

#### III. 同好会のお誘い

##### 1. 絵画同好会

3 月 22 日、中央公民館 1 F ロビーで初顔合わせを行いました、現在会員数 10 名です。会員の親睦を最優先にして楽しい会に育てて行く積もりです、興味をお持ちの方、ご参加をお待ちしております。

連絡先：垣見 之一 0423-95-3718

◎、世話人は下記のとおりです。

|       |             |           |              |
|-------|-------------|-----------|--------------|
| 部会長：  | 宮 輝雄 S22 理工 | 幹事        | 吉本 正典 S29 商  |
| 副部会長： | 番場 吉次 S26 政 | 幹事・婦人部担当： | 市川久美子 S42 教育 |
|       | 長井 治 S29 法  | 相談役       | 垣見 之一 S25 専工 |
|       |             |           | 三宅 良太 S36 商  |

◎、3 月 30 日、第 1 回 スケッチ会を所沢航空公園でおこないました。

## 設立からの歩み

思い出の第1号 東村山稲門会ニュース 2ページ建ての2ページ目です。

### 2. 郷土史の会

日時：平成9年4月6日（日）PM2時～4時  
場所：東村山ふるさと歴史館諏訪町1-6-3 TEL 0423-96-3800 下図参照  
連絡先：三宅良太 TEL 0423-94-5298

### 3. スキークラブ

シーズンは終わりですが、暖かい時にやるのもおつなものです、狭山もザウスもあります私は札幌勤務が永かったので大好きになりました、下手の横好きです。となたか好きな方おられますか？、是非声をかけてください。  
連絡先：田口 政澄 0423-95-4077

### 4. 北京語クラブ

一度生まれ故郷（旧満洲、撫順市）の中国へ行ってみたい、そのときは現地語で話しようと思ひ、時々勉強ははじめました。覚えるはしから忘れて困っています。どなたか俺についてこいという方はいませんか？、下働きはいたします。  
連絡先：田口 政澄 0423-95-4077

### IX. その他

#### 1. パソコンネットワーク、東村山稲門会ホームページ

伊藤さんが、開いてくれました、アドレスは下記の通りです、まだ試作運転中ですが、アクセスしてみてください。  
<http://www2n.meshnet.or.jp/~go-naoko>  
ご意見、問い合わせは伊藤 友巳 0423-94-4912

#### 2. 会からのお願い

##### (1). 会費の納入について

会費の納入がまだお済みで無い方、下記口座に振り込みをお願い致します。  
郵便局口座 名義 東村山稲門会 口座番号 00160-0-112250

##### (2). ポストマン（仮称）のお願い、

今後、稲門会、各同好会の活動状況、案内など、毎月ニュースでお知らせしたいと思っています。その場合、郵送料がばかにならず、会の運営を圧迫しますので、会員の手で配布出来る場所は、会員自身で補って行きたい考えで、各町ごとに2名程度のボランティアが欲しく、既に一部の町ではお願いしております。

一人あたり10～20通程度と思いますが、そのくらいの奉仕はしてやろうという有志の方、居られましたら事務局または大西までご連絡お願いいたします。

##### (3). 住所などの変更連絡

住所などの変更があった場合、稲門会ニュースなどのおとどけに支障が生じますので早めに事務局宛てご連絡をお願い致します。

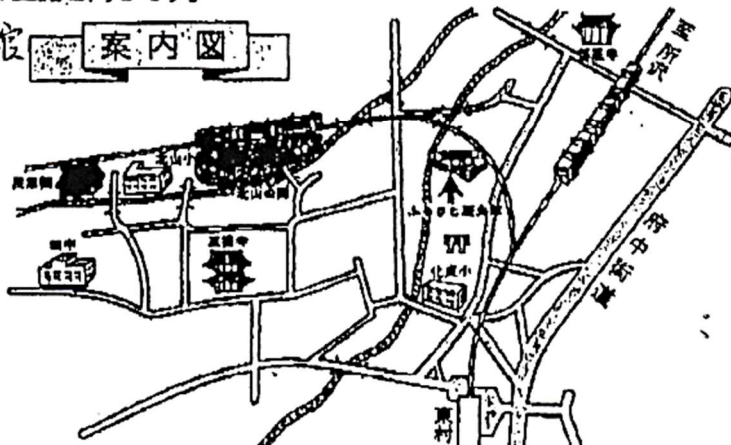
#### 3. 月例集会

原則として、毎月第一土曜日、15.00～ 市民センターで行っています、気楽にお出かけ下さい。

例 5月はゴールデンウィークと重なりますので5月10日と致します  
時間、場所は上記と同じです。

ふるさと歴史館

案内図



設立からの歩み

◆東村山稲門会会報創刊第1号発刊 平成9年(1997年)1月31日

思い出の創刊第1号 東村山稲門会会報

全8ページ建て、1ページ目です。



東村山稲門会

# 東村山稲門会会報

創刊第1号

発行日 平成9年1月31日  
発行人 大西 幸夫

発行所 東村山稲門会事務局 東京都東村山市恩多町5丁目24番地27

電話0423(94)6951 郵便振替口座00160-0-112250



## 東村山稲門会の 発足にあたって

東村山稲門会会長  
大西 幸夫

かねてからの懸案であった東村山稲門会が、平成八年十一月十日、皆様の協力を得て、奥島早稲田大学総長をはじめ校友会理事、近隣稲門会代表、ならびに細瀬東村山市長など、多数来賓の方々の出席を頂き、設立総会を盛大に開催し、多摩地区としては十七番目に発足することが出来ました。設立のきっかけとしては、平成七年四月に奥島総長をお迎えして「東村山の教育と文化を考える会」が開催された折に、東村山にも稲門会をつくろうではないかと提案されたことにあります。その後一年半、十五回にわたる会合を重ねた結果、有志の方々の努力により発足にこ

ぎつけることが出来ました。地方の時代と言われだしてから久しく、且つ人生八十年の長寿の時代となつて、定年後の二十余年りを地元に戻って何かしたいと思つても、仕事・途の会社人間であつた大部分の人達には「地元には親しく話ができる友人が居ない」という現状を打破するために、早稲田大学という共通のキーワードをベースに交友の環を広げてゆくのは、誠に意義のあることと存じます。また、校友には様々な分野にわたつて有能な方が多いことから、講演会活動をはじめとし、いろいろな分科会活動で会員同志の相互啓蒙のみならず一般市民も巻き込んで、東村山市の文化向上、街づくりの貢献できる活気ある会にしてゆきたいと考えて居ります。どうか皆様の絶大なご協力をお願い致します。

### 目次



|               |              |     |
|---------------|--------------|-----|
| 会長挨拶          | 会長 大西幸夫      | 1   |
| 来賓祝辞          | 早稲田大学総長 奥島孝康 | 2   |
|               | 東村山市市長 稲淵一男  | 2   |
| 設立経緯          | 井原 徹         | 2   |
| 設立総会報告        | 幹事長 本谷 肇     | 3   |
| 立川稲門会に出席して    | 副会長 三宅良太     | 3   |
| 事業計画及び予算      | 幹事長 本谷 肇     | 4   |
| 早稲田ニュース・校友会通信 |              |     |
|               | 幹事 小亀輝雄・井原 徹 | 4   |
| 所沢キャンパスツアー    | 幹事 小亀輝雄      | 5   |
| 設立記念懇親パーティ    | 副会長 久世利夫     | 6   |
| 例会雑感          | 幹事 田門政澄      | 6   |
| 活動アンケート結果     | 事務局 堀見一      | 7   |
| あなたもポストマンに    |              | 7   |
| 同好会・サークルへの誘い  | 会員各位         | 7・8 |
| 事務局のお知らせ      | 事務局長 上 幸雄    | 8   |
| 編集後記          | スタッフ         | 8   |

設立からの歩み

\* 東村山稲門会会報 13号以降については休刊です。

思い出の創刊第1号 東村山稲門会会報

全8ページ建て、2ページ目です。

東村山稲門会 会報



設立記念講演する総長

米資挨拶

# 母校創立125周年に向け 新たな大学改革を

早稲田大学総長 奥島孝康氏

皆さん今日は。本日は東村山に稲門会ができるということで大変喜んでおります。心からお祝い申し上げます。都内であといくつか稲門会のない地区が残っておりますが、ここの二、三年の内に東京都では全部の地域に稲門会

のネットワークができるのではないかと、楽しみにしている次第です。母校では、来る二〇〇七年の創立二五周年に向けて「グローバル・ユニバーシティ」の実現を目指して、アジア太平洋・生涯学習・情報の三つをコンセプトに大学改革を推進しております。校友会も基本活動方針として中期構想をうちたて、心のふるさとづくり、校友会給付奨学金、早稲田カード奨学金の充実に向け、日々邁進しております。このような取り組みは皆様の母校に寄せる気持ちがあつてこそ可能です。

今後とも母校、校友会への変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げます。貴会が、ますますご発展されんことを祈念いたします。

## 東村山稲門会設立経緯

東村山稲門会は下記のとおり、平成7年4月の稲門会設立の声を源流として、設立準備会、設立発起人会、設立総会準備会といった稲門会設立に向けての1年半におよぶ着実な流れの中で、有志の熱心な活動と校友の「東村山市にも稲門会を」という期待の声を背景として誕生した。

(平成7年)

- ☆ 4月 2日 東村山の教育と文化を考える会  
■懇親会の席で稲門会設立の提案が出される。
- ☆ 9月 30日 第1回設立準備会 ☆ 11月 18日 第2回設立準備会 (平成8年)
- ☆ 1月 27日 第3回設立準備会 ☆ 3月 3日 第4回設立準備会
- ☆ 4月 6日 第5回設立準備会  
■参加人員：7～10人  
■稲門会設立の意義、目的、趣旨、活動内容等を検討  
■稲門会の組織形態の説明 ■先輩稲門会の実情調査  
■発起人会の計画 ■在住者全員への呼びかけ
- ☆ 5月 11日 発起人会発足および懇親会  
■参加人員：60人
- ☆ 6月 12日 第2回発起人会 ☆ 7月 13日 第3回発起人会
- ☆ 8月 3日 第4回発起人会 ☆ 9月 7日 第5回発起人会
- ☆ 10月 5日 第6回発起人会  
■参加人員：20～30人  
■稲門会設立の意義、目的、趣旨、活動内容等の再確認  
■会則の検討・作成 ■役員候補の決定  
■設立総会への準備
- ☆ 10月 19日 所沢会場下見・打ち合わせ ■最終打ち合わせ
- ☆ 10月 26日 設立総会準備会 ☆ 11月 9日 事前準備
- ☆ 11月 6日 設立総会準備会 ☆ 11月 10日 設立総会



東村山市長 細渕一男氏

まず、本日は東村山稲門会の創立、おめでとうございます。今日は、市民祭の当日でもあり、急遽、ご挨拶のスケジュールを調整していただき恐縮でした。こんな立派で緑豊かな早稲田大学様の所沢校舎に招かれお話できることを光栄に思います。と申しますのも、東村山市は市民の皆様からご意見をいただき、第三次総合計画「緑あふれ、くらし輝く都市」を

## 「第三次総合計画」の推進に協力を期待

将来都市像としてスタートさせているからでございます。ところが、地方自治体を取巻く環境は、財政危機、高齢社会の到来、地方分権の動き等、極めて厳しい状況となっております。こんな時機、総合計画の推進や行政の再構築のため、内部改革に一層の努力をしてゆく所存であり、市民の皆様には、市政に対しご理解、ご協力をお願い申し上げます。そんな中、聞けば東村山には多数の早稲田卒業の諸氏がおられる由、大変心強く、是非、市政へのご理解、ご鞭撻をお願いすると共に、今後ますますのご発展を祈念いたしまして、設立お祝いのご挨拶に変えさせていただきます。